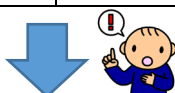


☆中間書式から自立活動の課題を整理（高等部の実態データから）

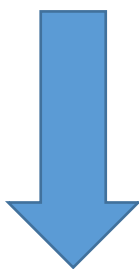
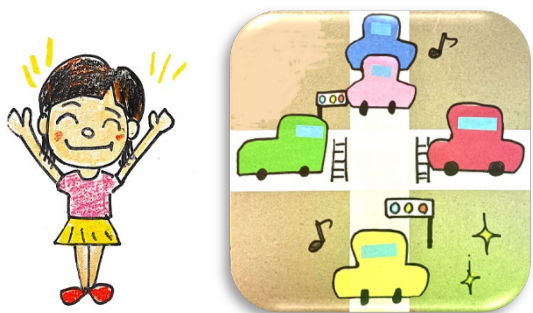
健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
<ul style="list-style-type: none"> ・覚醒と睡眠 ・健康状態の把握 ・清潔衛生 ・水分補給 ・食事・排泄 ・偏食・危険回避 	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちの安定 ・安心して活動に取り組む ・状況の把握 ・状況の変化への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己意識 ・感情の読み取り ・人への要求 ・気持ちの共有 ・行動の調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・固有覚・視覚 ・聴覚・粗大運動 ・微細運動 ・両側統合 ・運動企画 ・恒常性の知覚 ・図-地の弁別 	<ul style="list-style-type: none"> ・立位、四つ這い ・上下肢動作 ・片足保持・模倣 ・行動調整・歩行 ・上肢操作 ・階段昇降 	<ul style="list-style-type: none"> ・要求、援助 ・指さし理解 ・元になる力 ・言語の表出 ・言語の理解



☆情報の整理、中心課題となる事柄（生活上・学習上の困難さ）

様々な理由（生活リズムの乱れ、睡眠不足、空腹、家に帰りたい、休みたい、ホルモンバランス）から気持ちが不安定になり、学習に参加できない状態になる。また、自分の体の置き所が定まらなくなり、立ち歩いたり、物を投げたり、他害をする様子もある。

教室の環境（明るい、音がある、友達がいる）ではなかなか教員の声も入らずに落ち着くことができない。



ここで【交通整理が必要に！！】

☆スヌーズレンルームを活用した実践！！

スヌーズレンルームの視覚的にも聴覚的にも刺激を絞り（減らしながら）、さらに体をマットなどに預けて姿勢を保てる環境を活かした実践！！



ここが指導のポイント！！

【】内は自立活動の区分、項目を記載しています。

- ①落ち着いた環境（スヌーズレンルームの強み）を提供して、本生徒の感覚の刺激を減らし（好みの光などは点ける）、自分で落ち着いていくことを促す。【**心理的な安定2—（1）**】
- ②「お腹減ったなあ」「お腹痛いなあ」「眠たいなあ」「ママに会いたいなあ」などの本生徒の言葉にならない言葉を教員が代弁をして、本生徒の気持ちの安定を図る。【**健康の保持1—（1）、心理的な安定2—（1）、人間関係の形成3—（3）、コミュニケーション6—（1）**】
- ③気持ち、体調（調子）をきちんと整えたうえで、次の授業、学習に向かう自己調整の力（見通し）を身につけるように促す。【**心理的な安定2—（3）**】

